

117 アイヌ民族（2022年6月23日）

アジア、アフリカ、オセアニア、アメリカ大陸の固有の文化を扱うパリのケ・ブランリ美術館では、アイヌ民族に関するものが展示されています。アイヌ民族をご存じでしょうか？

アイヌ民族は、現在の北海道を中心とする日本列島の北部で生活してきた先住民族です。日本語とは全く異なる系統のアイヌ語を話し、独自の文化を築いてきました。

アイヌ民族は文字を持たず、神話から生活の知恵まで全て口承で受け継がれてきました。代表的な口承文芸は、「ユカラ」（叙事詩）と言います。祭事や祝宴で踊られた伝統的な踊りは、「アイヌ古式舞踊」として2009年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

ケ・ブランリ美術館では、アットゥシと呼ばれるアイヌ民族の伝統的な衣装が展示されています。ニレ科の樹皮やイラクサから取った繊維で織った生地が使われており、ベルトを締めて着用します。体内に邪気が入らないように、首回りや背中に模様を入れました。江戸時代になると、本州からもたらされたコットンで刺繍が施されたカラフルな衣装が誕生し、儀式用に用いられました。迷路のような連続する模様は、魔除けの意味があります。



パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本



北海道の地名は、アイヌ語に由来するものが多く、8割を占めるとする研究もあります。特殊な読み方をする地名が多く、日本人でも、地名を正しく発音することが難しいことがあります。アイヌ語の発音に漢字を当てはめたものや、アイヌ語の意味を日本語に翻訳して、その意味を漢字で表記したものがあります。2008(平成20)年にG8首脳会議が開催された洞爺湖町の洞爺とは前者の例で、湖を表す「トー」と岸を表す「ヤ」の音に漢字を当てはめたものです。

北海道にはアイヌ文化を紹介する施設があり、アイヌ文化を後世に伝えています。ご関心のある方は、北海道内のアイヌ文化関連施設を紹介する動画をご覧ください。

(道内アイヌ文化関連施設紹介映像)

<https://www.youtube.com/watch?v=0Hm4692aY1o>